

授業科目名 (英文名)	特別研究	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	2年次・後期
担当教員	大野 暢亮	所属	シミュレーション学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	博士前期修了後、実社会において、与えられた、あるいは、自ら提案した課題に対しシミュレーション手法を用いて課題に対する対応策を打ち出していける人材を育成するために、一人一人の学生に複数の教員が指導にあたる自主課題研究制をとる。講義と演習で得た知識、技術を実際の問題に適用し、自らの力を試し、自信と達成感を味わうために、担当教員を中心に複数の教員の指導のもと、自主課題研究を遂行する。この特別研究 では、特にその後半部分を実施する。		
講義内容・授業計画	概ね以下のスケジュールで進める（日程等詳細については、後日連絡する）。 1月末 論文（正1部）の提出 2月上旬 予備審査会 2月中旬 公聴会・合否判定		
テキスト			
参考文献			
成績評価の基準・方法	潜在的な課題の理解度、発表の仕方、説得力、プロセスと結果に対する洞察力・自己批判力、発表における冷静な判断力などを総合的に判断し、合否を判定する。		
履修上の注意・履修要件	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。 		
実践的教育	該当しない		
備考			